

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	エントランスリパティ 豊中教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 22日		～ 2024年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 22日		～ 2024年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご利用者だけでなく、家族支援を丁寧に行っている	・教室での活動報告を連絡帳で丁寧に言い、気になることに関しては、送迎時に口頭でお伝えしたり、電話やLINEなどで保護者と情報共有後、相談支援にあたることで、家族との信頼関係構築に努めている。	・数年後の出口を意識した療育の積み重ねを行い、必要な機関への接続や、情報提供を行うことをより一層意識し、家族と共に利用者の将来を考えることで、家族支援を深める。
2	・様々な資格保持者や、経験者が支援に当たっていることにより、多角的な支援が可能となっている	・保育士や児童指導員を中心に身体づくりのためのプログラム提供を行っている。 ・精神保健福祉士が常駐しており、心理面のケアを中心的に行っている。 ・元教員や学校で介助員の経験が長い児童指導員が、学習支援をきめ細やかに行っている。 ・関係機関連携を積極的に行い、学校との連携を丁寧に進め、相談しながら、共通の目標設定をすることによって、利用者の課題解決や、目標達成に繋げている。	・個々のスキルアップが目指せる研修への参加や、積極的に新しいことに挑戦する職員を支える仕組みづくりを行うことで、事業所としての支援の厚みを増すことにつなげる。
3	・若いチームだが、職員一人ひとりが見通しをもって支援に当たっており、連携が取れている。チームワークがあり、職場が明るい	・全職員が、専門領域の強みを活かせるよう、互いに積極的に意見交換できる会議の場を毎日設定している。 ・職員が率先して明るくあいさつし、積極的な姿勢を見せることで、利用者をポジティブな気持ちに引き寄せている。 ・事務的なことに関して、全員が仕事内容を理解し、誰でも同じ作業ができるよう、仕事を回している。	・ステップアップを目指したい職員を応援する仕組みづくりを整えていっている。 ・助言だけでなく、模倣から始め、実践できる環境設定を行うことで、積極的にトライ＆エラーに挑戦していくことを可能とする。

	事業所の弱み(※) だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流会やきょうだい向けのイベント、その他地域で他のこどもと活動する等の機会が提供できていない ・ペアレントトレーニングの提供がほとんどできていない	・親子で参加できるイベントを企画したが、人員配置に余裕がない時期があったため、今年度は提供が難しかった。 ・ペアレントトレーニング等の、相談支援が行える職員が少ない。	・準備をしっかり行い、様々な「想定」を設定することで、急な対応が必要となる場合でも「想定内」に留めていけると考える。 ・職員のスキルアップを積極的に行うことで、「できること」を増やし、自信をもって相談支援に当たれる環境づくりをしていく。
2	・室内の活動スペースが限られているので、活動内容が制限されることがある	・活動スペースを拡張することはできないが、フロアの利用方法を工夫し、場面や活動に応じたレイアウト変更が毎回はできなかった。	・利用者の数や、活動内容に応じてレイアウトを臨機応変に考え、変更していくことで、デッドスペースを減らし、活動の幅を広げることにつなげる。
3	・取り組み内容の発信力が弱い	・ホームページの更新体制が整っていない。 ・非常災害時の訓練が、不定期開催のため、実施の実態が届ききっていない。	・取り組み内容の発信に関しては、取り組みやすい方法を職員で確認し、発信力を高める取り組みを行い、届く情報を増やしていく。 ・避難訓練等の非常災害時の取り組みに関しては、定期的な開催を定着させ、全ての利用者が訓練に参加する機会の提供を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	エントランスリハビリ 豊中教室
------	-----------------

公表日 2025 年 4月 2日

利用児童数 4名

回収数 4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1		3		・適正な配置をし、支援を行っています。また、場合によっては、加配職員を配置し、より手厚い支援を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3		1		・引き続き、バリアフリー化や、構造化された空間づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				・引き続き、活動に合わせた空間づくりに努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				・今後も適切な支援を続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2		2		・今後もホームページやSNS等を通して、内容を周知していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3		1		・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3		1		・今後も適切な支援を続けられるよう、職員間で連携を密にしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				4	・今後、他教室との交流機会だけでなく、地域の行事等に参加し、交流の機会を検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				・引き続き、丁寧に説明していきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				・引き続き、丁寧に説明して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3		・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	2			・引き続き、子どもを中心とし、保護者と相談しながら丁寧に取り組んでいきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2	2	・今後、ニーズを踏まえて親子参加プログラムの実施を企画、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				・コミュニケーションを取りやすい環境整備を引き続き行っていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				・引き続き、日々の活動において、きめ細やかに情報伝達をしていきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			1		・今後も慎重に取り組んでいきます。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			2		・訓練等の実施に関して、周知していきま す。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3		・訓練等の実施に関して、周知していきま す。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			2		・訓練等の実施に関して、周知していきま す。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1		・速やかに連絡できるよう、普段から職員間 で輪違相を行うと共に、フローチャートに基 づいた連絡体系を確認して取り組んでいきま す。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					・通所することに期待を寄せていただけよう う、今後ご利用者に寄り添った支援内容を 提供していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					・通所することに期待を寄せていただけよう う、今後ご利用者に寄り添った支援内容を 提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					・通所することに期待を寄せていただけよう う、今後ご利用者に寄り添った支援内容を 提供していきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	エントランスリパティ 豊中教室		公表日		2025年 4月 2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	・ボールやバランスボールなどの使用を決めて事故を無くす工夫をしている	・利用者数により手狭に感じる場面はある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・活動や人数に応じて、環境設定や職員の配置を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		・玄関に段差があるので、バリアフリー化が望ましい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		・教室のにおいが少し気になる場面があるので、消臭対策をしている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・パーティションなどで工夫している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎日振り返りの時間がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・アンケートを取り、話し合いの場を設け、改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・朝礼や振り返りで意見交流が出来ている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・新入社員研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページに掲載している。 ・活動内容を保護者にお伝えしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者に何ったことを踏まえて作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・意見交流する場がある	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・カンファレンスをしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・都度、確認しながら行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・ガイドラインを元に作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・朝礼時に実施	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・マンネリ化を防ぐために話し合いを行っている ・週ごとに活動内容を変更している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・利用者に合わせて聞き取りを行い、ケースによっては午前中に個別利用の場を設定している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・送迎や運動の話し合いが都度行われている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・終礼の際に振り返りを必ず実施している	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・システムで記録管理を行い、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・毎日のフィードバックや会議によって、状況を共有し、より良い支援につながるようにしている。 ・十分な検証時間を設け、Eメール等を行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	指導員がカンファレンスに参加している	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・関係機関連携を実施し、情報を都度連携している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・連携を取り、情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・情報は都度共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	7	1	・情報共有している。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	・地域の公園等で遊ぶ機会はあるが、交流会はしていない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	・情報は都度連携している		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・家族に見学していただける機会に、支援方法等の共有や、家庭での支援をどのように行うか、提案している。	・定期的にペアレントトレーニングを開催することを今後、検討したい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に実施している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者との面談を適宜、行っており、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・保護者との面談を適宜、行っており、本人や保護者の願いを尊重した計画を立てている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・面談や助言の場を設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	・交流会の場を設けている	・昨年3月に保護者会を企画したが参加率が低い ・今後、親子で参加できるプログラムを中心に開催したい ・開催頻度は少ないと感じる
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談等があった場合、スピード感をもって対応すると共に、職員間の報連相を徹底している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・イベントの案内等で活用している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵をかけて厳重に保管している		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・発語が難しい場合はジェスチャーなどで工夫している。		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・招待事業は行っていないが、地域に出向いていく活動を通し、地域に根差した事業所として日々、事業運営を行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	・避難訓練実施に関して、保護者への周知が徹底できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・策定し、ファイルにて保管している ・定期的に会議を行い、情報のアップデートを行っている。 ・避難訓練を定期的実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時等、適宜行っている。	保護者への情報提供のみ
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・契約時に保護者より丁寧に聞き取りを行っている。 ・情報が更新された際には、職員間で情報共有を徹底し	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・都度、点検や確認を行いながら進めている ・定期的に研修や訓練を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・契約時に非常災害時の対応等、詳細に伝えている。 ・日ごろから情報共有を行い、安全管理について周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・都度、情報共有を行い、再発防止に向けて振り返り、会議を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・定期的に研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・実施している	